

---

# 流れ星

夜鳥

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

流れ星

### 【著者名】

NZマーク

### 【作者名】

夜鳥

### 【あらすじ】

流れ星。幾つ墜ちれば求むるものは。

## 流れ星

死期を悟れば光り輝き　自ら潰える　流れ星

只それだけの宿命に

馴れ合いは無用

感情は塵芥

積るならば掃けば良い

星の数 意思の数

遂げられないものばかり

只それだけの事で

全ては今で　今に終わり

一時に生き死せるだけの命なら　その一時に全てを捧ぐ

只それだけが全て

墮ちゆく身で許される行為

今墮つる生命　感じるモノは只痛み

蒼白の体はひび割れ軋む

光を纏えど　それは生命の流出

只流れ出す魂は　もがきながら黒紙に苦痛の搔き跡を残す

只　生けるだけ　死ぬだけ

何も求めてなどいないのに　墮とされる

神という存在が無邪気な子に還り　空に燦然とたたずむ星を  
適当に狙い撃ち落とし　遊び喜んでいる様な錯覚

幾つ数えども 墮ちた星は戻らない

高々と光る 晃晃と浮かぶ

その身が墮ちる

加速度を上げて 白い筋を涙の「」とく  
地平線の果てに行き着けば 保氣無い終わり 破けて散った

きらめり ひらめり

散らす体は粉雪の様で  
その欠片がまた幾千もの星になり  
同じ道を辿り巡れど 行き着くは同じ終わり

ぱたぱた ぱたぱた

消える魂に流れる嘆き

何故 何故 と 問う声も虚しく  
散つた星々は 然う思つ事も出来ぬのに

何故 何故 散つた と  
如何して 如何して と

哀しめど それは嘲笑りに似て  
神の気向くまま 墮ちる身に降る言の葉は  
主に愛求むるものへと 傷を生む

然うと氣付かず同情を寄せる 神は無知  
然うと知りうども愛を望む 星は無様

無邪気な神の嘆きの涙は 星降らす夜の長い雨

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9626c/>

---

流れ星

2010年11月14日09時38分発行